

北海道下川商業高校のみなさんが下川町の特産品を販売！



8月6日の昼休憩時間に、北海道下川商業高校の皆さんが本社で干しシイタケや手延べうどん、トマトジュースなどの地域特産品を販売しました。販売会には、中野浜松市長も来られ、多くの方が下川の特産品を購入されました。

北海道下川商業高校の販売会は、スズキのように下川町にゆかりのある企業や、東京、札幌などでも開催され、35年以上続く学校の伝統行事です。販売会には3年生が参加していますが、みなさん2年生の夏から準備を始める1年超のプロジェクトで、「修学旅行よりも印象深い高校生活の思い出」と話してくれました。販売会には、「スズキに入社したい！」と言っている生徒さんも参加していました。



特産のトマトジュースは試飲があり、多くの方が足を止めていました。高校生の皆さんが考案した今年のオリジナル商品シイタケうどんも非常に人気があり、最初に完売です！

販売会の後にはスズキ歴史館を見学し、スズキの歴史を知っていただきました。



販売会翌日の8月7日には、社長との懇談があり、浜松駅前に展示しているフロンクス、高橋尚子さんやオリンピックに出場するスズキアスリートクラブの斉藤真理菜選手について、また、高校生の皆さんが行ってみたい外国についてのお話で盛り上がりました。高校生の皆さんからはフロンクスが「カッコいい！」という声があり、行ってみたい外国については社長からは「異文化に触れ、世界を知ることはいいい」というコメントがありました。



今回販売会に参加した北海道下川商業高校の生徒さんからは、「準備が大変でしたが、とてもいい経験になりました」、「後輩たちにも伝えていきたい」といった感想をいただきました。



下川町の木質ペレットを使ってハウス栽培している特産の「下川町のなついちご」をいただきました！とっても大粒でキレイです。

販売会は大盛況で終わりました。これからもイベントなどを通じて、スズキと関わりのある地域のみなさんとの交流を深めていきたいですね！